

早稲田大学レジリエンス研究所 (WRRRI)  
科研バックエンド問題研究会  
「可逆性アプローチによる高レベル放射性廃棄物 (HLW) 管理政策と世代間公平性」  
第 18 回科研バックエンド問題研究会  
議事録

日時：2020年1月23日 (木) 18:30 - 20:30

会場：早稲田大学早稲田キャンパス 19号館 713 会議室

出席者 (敬称略)：

研究会メンバー

松岡俊二	早稲田大学国際学術院 (アジア太平洋研究科)・教授
勝田正文	早稲田大学理工学術院 (環境・エネルギー研究科)・教授
師岡慎一	早稲田大学理工学術院 (先進理工学研究科)・特任教授
松本礼史	日本大学生物資源科学部・教授
黒川哲志	早稲田大学社会科学総合学術院 (社会科学研究科)・教授

事務局

CHOI Yunhee	早稲田大学アジア太平洋研究科・博士後期課程
山田美香	早稲田大学アジア太平洋研究科・博士後期課程
朱 鈺	早稲田大学アジア太平洋研究科・博士後期課程

議題：

- (1) イギリス出張 (2019年12月) 報告 (報告者：Choi Yunhee)
- ・イギリス Exeter 大学の Susan 先生と NDA の Tony さんのインタビューで議論したイギリスの Nuclear Cultural Heritage アプローチや廃炉政策におけるステークホルダー参加について報告した。
- ・Heritage アプローチと関連して、2020年7月予定のイギリス調査のポイントについて議論した。
- (2) 2020年度の研究計画について (イギリス海外調査について) (報告者：朱鈺)
- ・イギリス Dounreay 原発の廃炉と関連して、2006年に実施した End State のオプションに関する地域対話の事例を報告した。
- ・今年7月予定のイギリス調査の計画を紹介した。
- (3) 第9回原子力政策福島復興シンポジウム (3/7) について (報告者：松岡俊二)
- ・第9回原子力政策福島復興シンポジウム (3/7) の内容を報告し、運営・進行について議論した。
- ・今後の予定：
  - 報告者へ、2020年2月28日 17:00 までに報告資料の提出をお願いする。
  - 討論者は、必要な場合は、PPT 資料を用意し、当日 USB で持参することをお願いする。
- (4) NUMO 研究プログラムについて (報告者：松岡俊二)
- ・2月21日予定の NUMO 講演 (講演者：松岡俊二) について研究会メンバーに報告した。
- (5) その他
- ・2/17(月)18:00 から第19回科研バックエンド問題研究会を開催する。

今後の予定

2月17日 (月)	第19回科研バックエンド問題研究会
2月18日 (火) -19日 (水)	OECD/NEA Workshop on Preparedness for Post-Accident Recovery Process : Lessons from Experience (東京大学山上会館)
2月21日 (金)	NUMO 講演会
3月7日 (土)	第9回原子力政策_福島復興シンポジウム